



7/30

プロの料理人が交流とスキルアップを応援 さんぽく会館

▶親切丁寧なプロの教えに参加者も大満足



市内でレストランを経営する斎藤栄一さんと藤山敏郎さんが主催した「おとなのふれあい料理教室」が開催されました。これは料理を通して男女の交流を図ることを目的に、市の婚活支援事業の認定を受けた教室です。斎藤さんが「料理を通して必ず素敵な男性、女性になるお手伝いをします」と意気込みを語ると、参加者からは大きな拍手が巻き起こりました。

今後は9月、10月、2月に開催されます。参加を希望する人は、斎藤さん（☎090-4010-4581）までご連絡を。

7/30

「手かぎ漁」は幼いころの遊びから 塔下集落

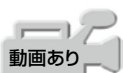
山北地区の大川と勝木川で7月1日から9月30日まで解禁となっているアユ漁。この日、全国的にも珍しい「箱メガネ」を使った「手かぎ漁」をしていたのは、富樫広行さん（塔下）。富樫さんは「川で遊ぶ子どもが減ったが、自分たちが子どものころ遊びながら覚えたアユ捕りの楽しさを、今の子どもたちにもぜひ体験してほしい」と話してくれました。



◀手かぎ漁でアユを捕る富樫さん

7/30

旬の岩ガキを堪能 岩船港直売所



▶素早く岩ガキの殻をむくスタッフ



「貝フェスティバル」が開催されました。岩船港で水揚げされた新鮮な岩ガキを求めて、販売前から長い行列ができました。その場で殻をむいてもらい、新鮮な岩ガキをおいしそうに食べる人々からは笑みがこぼれます。聖籠町から訪れていた渡辺さんは「初めて来ましたが、大勢の人出にビックリしました。ここのカキはとってもおいしいです」と話してくれました。

7/22

交通事故防止のために 道の駅神林 穂波の里



◀安全運転を呼び掛けました

夏の交通安全運動の一環として、交通安全合同指導所が開設されました。強い日差しが照りつける中、交通安全指導員や神林交通安全母の会の人たちが、行き交うドライバーに啓発グッズを配りながら、安全運転を呼びかけました。小口川駐在所の清野さんは、「暑さや疲れから集中力が低下して事故につながるケースが多いので、いっそう注意してハンドルを握り、事故防止に努めていただきたい」と話していました。

8/6

大盛況！ 水曜どうでしょうキャラバン

神林農村環境改善センター



村上グルメを絶賛する嬉野さんと藤村さん

HTB北海道テレビの人気バラエティ番組「水曜どうでしょう」から生まれたイベントが、神林地区にやってきました。30度を超える真夏日にもかかわらず、全国各地から約3,000人が来場。番組のディレクターの嬉野さんと藤村さんの絶妙なトークは、会場を爆笑の渦に包みこみました。

村上市は番組ファンの間では有名な「だるま屋ウィリー事件」のご当地。その事件現場を再現した記念パネルコーナーでは、ファンがバイクにまたがり記念撮影していました。

村上牛丼や鯛茶漬けなどのご当地グルメコーナーも大好評で、各ブースには長い行列ができていました。特にお米のおいしさには、全国のファンも驚いていました。

地酒で鏡割り



記念パネルコーナー



笑いが絶えない観客席



グルメコーナー



最後に全員で記念撮影

7/20

力作ずらり87点

荒川支所

写真を講評する内山審査員長



清流荒川の四季をテーマにした「えちご清流荒川フォトコンテスト」の審査会が開催され、地元写真家の内山晟氏や清流荒川を考える流域ワークショップのメンバーら11人の審査員により、荒川の魅力などが表現された7点の優秀作品が選ばれました。

【最優秀賞】 斉藤正幸さん（村上市）

【優秀賞】 近伸太郎さん（新潟市東区）

小山 寛さん（新潟市西区）

8/7

新鮮な野菜をどうぞ

J Aにいがた岩船北部営農センター駐車場

新鮮なスイカなどは飛びように売られました



銘産地域まちづくり協議会が主催した「第11回たてこし軽トラ市」が開催されました。これは、農家の皆さんが自慢の野菜などを軽トラックの荷台に載せて直接販売するイベントです。販売のほかに、ガラポン抽選会やスイカの種飛ばし大会、かき氷と玉こんにゃくの無料サービスなども行われ、多くの来場者でにぎわいました。

8/3

羽越水害から学ぶ

保内小学校

約200人の児童が学びました



羽越水害発生から来年で50年を迎えることから、村上岩船ロータリークラブが水害の被災地域にある9つの小学校の5年生を対象に「ふれあい防災教室」を開催しました。

児童らは「ジュニア防災検定」を受験したのち、羽越水害の記録映像や講演を視聴し、災害時の対応などについて理解を深めました。